

書誌調整連絡会議
2017.3.16

新しい『日本目録規則』の意義 －FRBRモデルへの対応

渡邊 隆弘
(帝塚山学院大学/
JLA目録委員長)

watanabe@tezuka-gu.ac.jp

★目次

1. FRBRモデルと新NCR

2. FRBRモデルの特徴と意義

3. 目録サービスに与える可能性

★ FRBRモデルと新NCR

◆ 新NCRの策定方針(「序説」)

国際標準(ICP等)に準拠
RDAとの相互運用性を担保

**FRBRを
基盤とした
規則**

日本における出版状況等に留意

NCR1987年版とそれに基づく目録慣行に配慮

論理的でわかりやすく、実務面で使いやすく

ウェブ環境に適合した提供方法

★ FRBRモデルと新NCR

◆ FRBRに沿った全体構成

大きくは、「属性の部」と「関連の部」

属性の記録は、FRBRの実体別

第2章 体現形 第3章 個別資料

第4章 著作 第5章 表現形 ...

RDA以上に、FRBRどおり

RDAの例

セクション1 体現形、個別資料の属性

第2章 体現形・個別資料の識別

第3章 キャリアの記述

第4章 取得とアクセス情報の提供

**体現形の属性
が第2~4章に
分散**

★ FRBRモデルと新NCR

◆ ただし、完全にFRBR通りではないところも

属性の元素設定は、RDAに準拠
関連の設定も、RDAに準拠
FRBRにはない、「著作⇔体现形」など

基本的には、FRBR準拠

FRBRモデルの特徴と意義を高く評価

★ 目次

1. FRBRモデルと新NCR

2. FRBRモデルの特徴と意義

3. 目録サービスに与える可能性


★ FRBRモデルの特徴と意義

- ◆ A. 典拠コントロールを明確に位置付け
「著作」「個人」「団体」等も実体として、諸属性を設定
他の実体との関連も設定
従来の規則では、「標目」「参照」の規定のみ
実務上は行われてきたこと： 典拠リンク(関連)
- ◆ B. 資料の構造的把握の進化
内容的側面と物理的側面の整理
「著作と版」を、より精密化
内容的側面(著作・表現形)を、これまでより重視
特に、著作の重視
創作者(Creator)や主題とのリンク(関連)

★ FRBRモデルの特徴と意義

- ◆ C. 「関連」の重視
実体の属性とは別立てで設定
要するに、「リンク」
「典拠リンク」以外の、多様な「その他の関連」も
- ◆ D. 機械可読性の向上
A, B, Cの帰結
あくまで概念モデルだが、データベースイメージ

★FRBR Familyから、FRBR-LRMへ



International Federation of
Library Associations and Institutions

FRBR-Library
Reference Model

Table 4.1 Entity Hierarchy

Top Level	Second Level	Third Level
LRM-E1 Res		
--	--	LRM-E8 Collective Agent
--	LRM-E9 Nomen	
--	LRM-E10 Place	
--	LRM-E11 Time-span	

特徴と意義は、継承
“Requirement” から “Model” へ
実体をきちんと識別し、きちんと関連づける

★目次

1. FRBRモデルと新NCR

2. FRBRモデルの特徴と意義

3. 目録サービスに与える可能性

★ 目録サービスに与える可能性

◆ (このややこしい)FRBR、新NCRによって
 目録はどう変わるのか？

策定の立場から、答えにくい質問
 意味的側面と構文的側面の分離
 = 目録サービスを制約しない目録規則

何か答えないと納得してもらえない
 資料の内容的／物理的側面の構造化
 リンク機能の拡充
 LODとしての目録データ

★ 目録サービスに与える可能性
 資料の内容的／物理的側面の構造化
 (FRBRization)

Melvyl @ UCLA

タイトル/著者	資料種別	言語	出版日/エディション	出版
1. 海辺のカフカ! Umibe no Kafuka by 村上春樹, 1949- Haruki Murakami book_printbook : Fiction 全フォーマットと出版言語 言語 : Japanese 出版 : 新潮社, Tōkyō : Shinchōsha, Heisei 17 (2005) データベース : WorldCat 所蔵館 : UCLA Library				
2. Kafka on the shore by Haruki Murakami; Philip Gabriel	book_printbook : Fiction	English	2006 1st Vintage International ed.	New York, N.Y. : Vintage International
2. Kafka on the shore by Haruki Murakami; Philip Gabriel	book_printbook : Fiction	English	2005 1st American ed.	New York : Alfred A. Knopf : Distributed by Random House
3. Kafka on the shore by Haruki Murakami; Philip Gabriel	電子書籍 : Document : Fiction	English	2005 1st American ed.	New York : Alfred A. Knopf : Distributed by Random House

★ 目録サービスに与える可能性
資料の内容的／物理的側面の構造化
(FRBRization)

NDLサーチ

映像資料 風と共に去りぬ
ウィヴィアン・リー, クラーク・ゲイブル 出演 Laserdisc Corporation 1984
国立国会図書館蔵書

図書 風と共に去りぬ
ミッチェル 著, 大久保康雄, 竹内道之助 訳 三笠書房 1977
国立国会図書館蔵書

図書 風と共に去りぬ
マーガレット・ミッチェル 著, 大久保康雄 訳 三笠書房 1952
国立国会図書館蔵書 公共図書館蔵書

図書 風と共に去りぬ
マーガレット・ミッチェル [著] 大久保康雄, 竹内道之助 河出書房新社 1975
国立国会図書館蔵書

▼ 関連資料を表示(293件)

図書 風と共に去りぬ
宝塚歌劇団 1994
国立国会図書館蔵書

図書 風と共に去りぬ

★ 目録サービスに与える可能性
資料の内容的／物理的側面の構造化
(FRBRization)

既存データを自動処理する努力には、限界

FRBR準拠の規則による明示
著作(および表現形)の典拠コントロール
内容的側面と物理的側面の切り分け
* 独立典拠レコードを必須とするものではないが、
意識的なデータ作成が必要

★ 目録サービスに与える可能性
 リンク機能の拡充

CiNii Books
 こういふことを
 さらに拡充し、
 「つながるデータ」に

社会基盤としてのインターネット
 村田, 正幸
 ムラタ, マサユキ
 山口, 英
 ヤマぐち, スグル
 塚本, 昌彦
 ツかもと, マサヒコ
 塚田, 晃司
 ツかだ, コウジ
 星, 徹
 ホシ, トオル
 下条, 昌司
 シモジョウ, シンジ
 佐藤, 哲司
 サトウ, テツジ
 名和, 小太郎
 ナワ, コタロウ
 磯崎, 彰彦
 イソザキ, アキヒコ
 尾家, 祐二
 オイエ, ユウジ
 関連文献: 1件 ↓

書誌事項
 社会基盤としてのインターネット
 村田正幸 [ほか] 著
 (岩波講座インターネット / 尾家祐二 [ほか] 編集委員, 6
 岩波書店, 2001.9)

関連文献: 1件中 1-1を表示

岩波講座インターネット
 尾家祐二 [ほか] 編集委員
 岩波書店 2001.3-2003.3

日本図書館情報学会誌
 日本図書館情報学会
 ニホン トショカン ジョウホウ
 ガツカイ
 継続前誌: 1件 ↓

継続前誌: 1件

図書館学会年報 = Annals of the Society of Library Science
 日本図書館学会 [編]
 日本図書館学会 1954-1999
 所蔵館305館

★ 目録サービスに与える可能性
 リンク機能の拡充

要するに、「関連」の充実

著作間の関連(新NCR#43.1.1)
 <識別子>
 漫画化の原作(著作): 国立国会図書館典拠ID: 00633493

<典拠形アクセス・ポイント>
 漫画化の原作(著作): 紫式部. 源氏物語

<非構造記述>
 『源氏物語』(紫式部)の漫画化

←これではリンクしがたい
 機械可読性が重要

★ 目録サービスに与える可能性 LODとしての目録データ

使う・つなげる: 国立国会図書館のLinked Open Data (LOD) とは

国立国会図書館は、保有するメタデータを様々なシステムやアプリケーションで活用できるように、メタデータをリンク・オープン・データ(Linked Open Data: LOD)として提供しています。このページでは、国立国会図書館が提供するLODについて紹介します。各データの利用方法については「[使う・つなげる: 国立国会図書館のLODを使う](#)」を、データの活用事例や活用可能性については「[使う・つなげる: 国立国会図書館のLODでつながる](#)」をご覧ください。アスタリスク(*)を付記した用語は、「[【参考】メタデータ関連用語集](#)」にリンクしています(初出のみ)。

1. LODとは
2. 国立国会図書館のLOD
 - [書誌データ\(国立国会図書館サーチ:NDLサーチ\)](#)
 - [曲検データ\(国立国会図書館曲検データ検索・提供サービス:Web NDL Authorities\)](#)
 - [震災関連データ\(国立国会図書館日本大震災アーカイブ\(愛称:ひなびく\)\)](#)
3. 国立国会図書館のLOD推進の取組
4. 参考文献
5. 国立国会図書館のLinked Open Dataに関する問い合わせ先

機械可読性を備えたデータ

ばらせるデータ: 「実体」認識

つながるデータ: 「関連」

FRBR の概念モデル

以下の資料に掲載の図を元としている。

田窪直規編著『情報資源組織論 改訂』樹村房, 2016. p.53-54. (執筆分担: 渡邊隆弘)

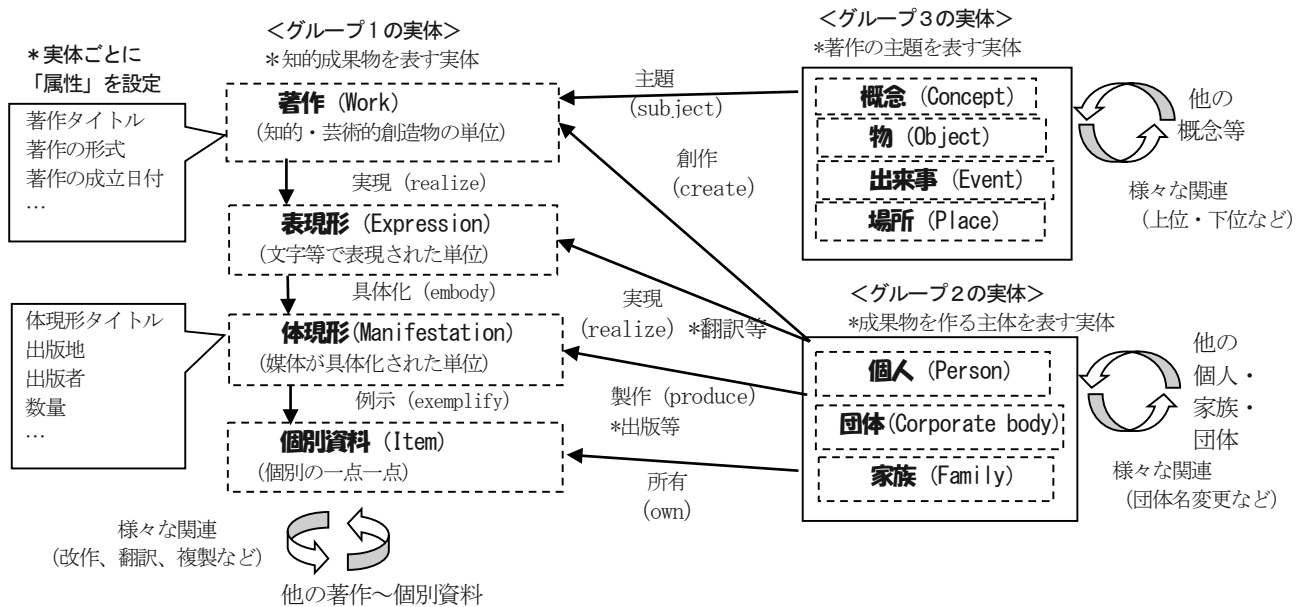


図 1. FRBR モデルの概要

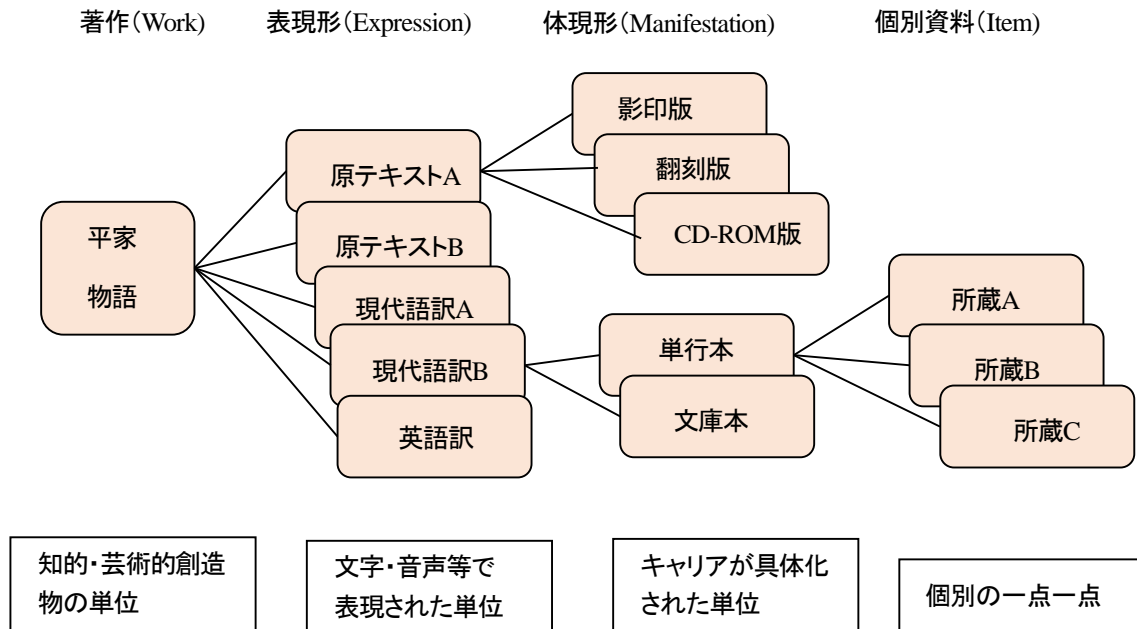


図 2. FRBR モデルにおける「グループ1」の4実体